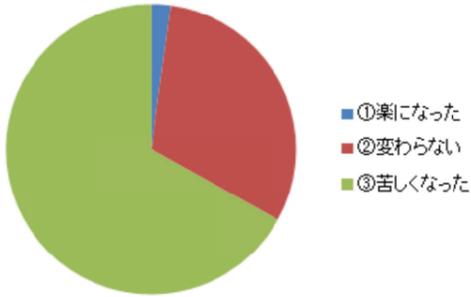


市民要求アンケート返信700通超

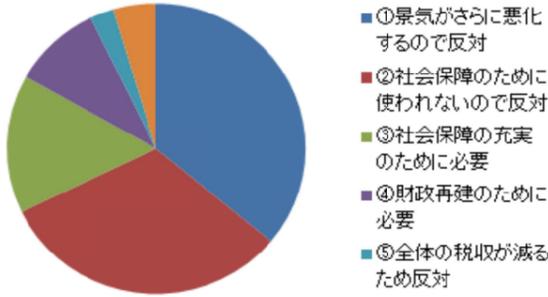
昨年11月から日本共産党議員団が行っている市民要求アンケートは、市内各世帯に配布されこれまでに700通を超す返信が届いています。暮らしが苦しくなった、増税は景気が悪化するので反対など図のような市民の声が寄せられています。今後の議会活動や政策に活かしていきます。



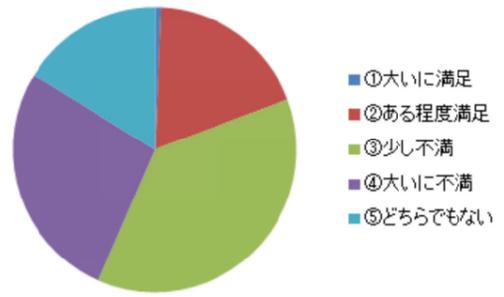
1. あなたの日々の暮らしは、これまでとどう変わりましたか。



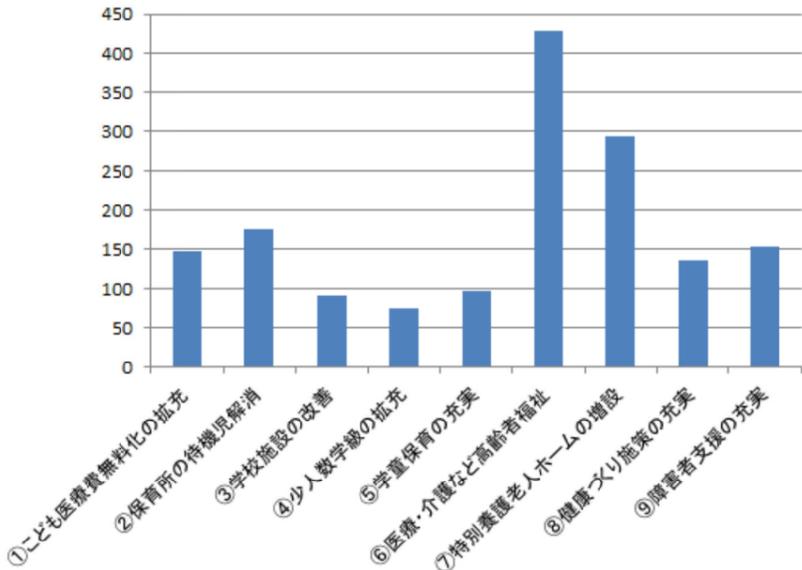
9. 消費税が8%に増税されようとしていますがどう思いますか。



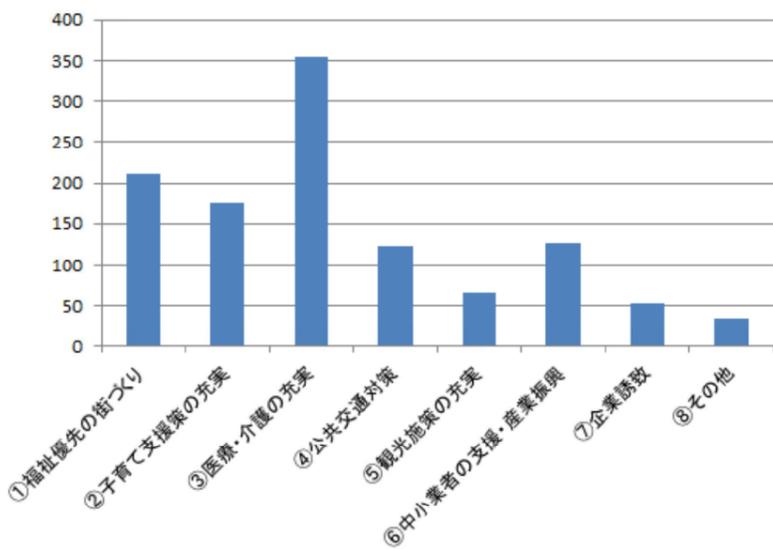
2. いまの川越市政についてどう思いますか。



4. 福祉施策で力を入れてほしいことは何ですか。



5. 川越市の将来を見すえて、どのような街づくりが必要だと考えますか。



ご協力有難うございます



日本共産党市議会議員

川口ともこ レポート

みなさんの願いを議会に届け実現

春が待ちどおしい季節です。寒さ厳しい折、お身体を大切に下さい。

喜ばれる複合遊具設置へ

この間、議会で提案してきた川越駅西口暫定駐輪場は、

私は12月議会の一般質問で、非正規職員の処遇改善等について、また、川越市駅の歩道橋設置の具体的な計画や通学路の安全対策をただすため川越市駅周辺の諸問題について取り上げる予定でしたが残念ながらできませんでした。

1月から自転車24時間の利用料が150円から100円に、定期利用も実施。大東市民センター内に児童支援施設と西側広場に複合遊具ができます。



大東市民センター西側広場に設置へ

みなさんの切実な声を届ける大切な場を奪われたことに非常に憤りを感じます。この責任を市長はどのように感じているのでしょうか。

自然エネルギーへの転換では、資源化センター裏の調整池を利用して太陽光発電が行われる予定です。電力自由化により小中学校や資源化センター、市役所の電力契約を東京電力から特定規模電力事業者に切替えることで年間約5

700万円の削減が見込まれています。これからは、家庭の電力を選択できる時代がくるかもしれません。死の灰を安全に処理する技術がないのに原発再稼働を進めることは無責任です。一緒に、原発ゼロで自然エネルギーへの転換を求めていきましょう。

本川越駅西口開設用地100%取得決まる

本川越駅反対口（西口）開設に必要な事業用地である残り分の購入が昨年10月22日、川越市土地開発公社理事会で決定しました。これにより同事業用地の100%取得が決まりました。

2016年3月頃の予定です。開設は、路整備工事が行われます。開設は、日本共産党議員団は、くり返し市議会の一般質問を行い本川越駅の反対口開設を求めました。

供用開始は

2016年3月頃

2014年度は、事業用地の更地引渡し、西武鉄道と詳細協議、駅前広場・アクセス道路の実設計が行われ、2015年から駅前広場や道

